

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22070	事業名	観光協会運営支援事業			評価分類	A1
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()						担当部署
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上			予算科目	会計	01:一般会計	
	基本施策	04:まちづくり観光の活性化				款	07:商工費	
	施策の方向	03:まちづくり観光を支える人材と組織の育成・確保				項	01:商工費	
	重点プロジェクト	-				目	03:観光費	
事業期間	H 21 年度	~	R - 年度	主な根拠法令等	亀山市観光協会補助金交付基準			

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	観光協会を主体とした関係団体が協働して観光振興を図り、観光地として選ばれるまちとなるため、まちづくり観光のコーディネート機能を果たす観光協会への継続した運営補助と機能強化が必要である。	一般社団法人亀山市観光協会	亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図ることで、観光地としての知名度向上と来訪者の増加を図る。	亀山市観光協会へ財政的支援を行い、既存事業の継続とブラッシュアップを図り、更なる誘客を図る。また、観光協会の持つネットワークを生かした広域的な連携や様々な媒体を生かした情報発信を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○亀山市観光協会への補助金交付	○亀山市観光協会への補助金交付	○亀山市観光協会への補助金交付	○亀山市観光協会への補助金交付
	活動実績 (計画通り実施できたか)	亀山市観光協会への補助金交付や運営支援を行うことで、観光案内、観光情報の発信及びフィルムコミッションの運営の他、城郭巡りスタンプラリー、東海道ひなまつり等の事業の実施に繋がった。			
計画額	事業費	17,700千円	17,700千円	17,700千円	17,700千円
	国・県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	17,700千円	17,700千円	17,700千円	17,700千円
決算額	事業費		16,304千円		
	国・県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源		16,304千円		
①期間内事業費(R4-7)		70,800千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費
				-	-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	17,700千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	観光協会ホームページ訪問者数	成果	人	計画値	190,000	205,000	220,000	235,000
				実績値	224,617			
	フィルムロケ地誘致回数	成果	回	計画値	5	10	15	20
				実績値	47			
				計画値				
				実績値				

事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
⑤ 成果 (C)	A
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
一般社団法人亀山市観光協会	亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図ることで、観光地としての知名度向上と来訪者の増加を図る。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	会員数の減少に伴う自主財源の確保、専門的な知識を有する人材の確保及び組織の高齢化が課題であり、引き続き観光協会の円滑な運営と組織力の効果に向けて支援が必要である。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの
団体旅行・大量消費型観光から個人旅行・サステナブルツーリズムへのシフトに対応するため、関係機関と連携して、観光コンテンツの高付加価値化を図り、観光協会の運営基盤の強化につなげる。	引き続き、インバウンドや富裕層に向けた体験型コンテンツづくりや亀山ブランドの活用など、更に付加価値を高めて取り組むことで、市内観光地の活性化を図り、観光協会の運営基盤強化につなげる。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴	成果判定 A			
	事業展開 継続(現状維持)			

1次評価者	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドGL 早川 博人
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 井上 和哉